

やまぐちっ子学力向上だより

第 127 号 R5.4.10

山口県教育庁義務教育課

学力向上の取組について

山口県教育委員会では、「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会」からの提言を踏まえ、【図】のように「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の3つの視点から、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた体制づくりと授業改善を推進します。

【図】 R5 これからの時代に求められる資質・能力の育成



なお、やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会からの提言については山口県ホームページに掲載しております。詳しくは、右のQRコードを読み取って御覧ください。



全国学力・学習状況調査実施日は4月18日です。

子どもたちにとっては、これまでの学習の成果を発揮する機会になるとともに、これからの学習の進め方を捉える機会になります。また、私たち教員にとっては、昨年度の10月確認問題（CBT）の結果を受けて、各学校で創意工夫して取り組んできた教育活動の成果を確認する機会となります。

(1) 子どもたちが自分の力を十分に発揮できるように

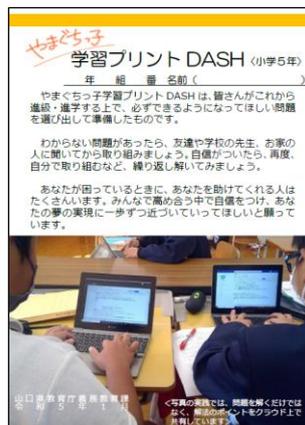
今回の調査では、調査の一部をオンライン方式で実施することとなっており、例年と異なる部分があります。マニュアルに記載されている指示の言葉や子どもたちの動線等を関係者全員で確認し、落ち着いた調査環境を整えるなど、全校体制で支援しましょう。

(2) 子どもたちが意欲的に取り組むことができるように

子どもたちと日々接する教員の関わり方次第で、子どもの取組姿勢は変わります。「何のために行うのか」を子どもたちと共有し、子どもたちが前向きな気持ちで調査に臨めるよう言葉をかけましょう。また、全国の同世代の仲間が同じ調査を実施することのよさについて考える時間を設定するなど、意欲的に取り組むことができるような働きかけをお願いします。

(3) 子どもたちが自信をもって取り組むことができるように

1月に各学校にお届けした「やまぐちっ子学習プリントDASH」は、全ての子どもの可能性を引き出すために、これまでに課題がみられた問題を精選した学習プリントです。教員の丁寧な指導のもと、目の前の子どもたちの状況に応じた、課題を課題のままにしない取組を行い、自信をもって調査に臨むことができるように支援しましょう。



<参考>

前回の調査結果では、①知識や技能を活用すること、②問題場面を捉えて、目的に応じて自分の考えを書いたり説明したりすることに課題がみられました。また、国語科では「書くこと」に関して、算数・数学科では「変化と関係」「関数」などに課題がみられました。